



■記念撮影の席順 [うらら大屋根広場(駅側)にて]

塚本 局長	田子優奈 議員	目黒英一 議員	勝田達也 議員	島岡宏明 議員	塚原圭二 議員	矢口勝雄 議員	奥谷 崇 議員	井坂 教育長
----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------

今野貴子 議員	平石勝司 副議長	篠塚昌毅 議長	柳澤 明 議員	柏村忠志 議員	柴原 伊一郎 議員	鈴木一彦 議員	下村壽郎 議員	五頭 副市長
------------	-------------	------------	------------	------------	-----------------	------------	------------	-----------

小坂 博 議員	吉田博史 議員	福田一夫 議員	矢口 清 議員	中川市長	内田卓男 議員	海老原 一郎 議員	寺内 充 議員	吉田 千鶴子 議員	久松 猛 議員
------------	------------	------------	------------	------	------------	-----------------	------------	-----------------	------------

目 次

【特 集】

《その1》 土浦市一般会計予算・特別会計予算 2

《その2》 新しい土浦市議会議員の顔ぶれ 8

【目 次】

- 平成31年第1回定例会の結果 3
- 会派代表質問 創政会(内田卓男)、明政会(寺内 充)、
公明党土浦市議団(荒井 武)、日本共産党土浦市議団(久松 猛) 4
- 一 般 質 問 下村壽郎・平石勝司 5
- 篠塚昌毅・吉田千鶴子・竹内 裕・島岡宏明 6
- 井上圭一・勝田達也 7
- 令和元年第1回臨時会の結果 7
- 新議長・副議長あいさつ 8

＜平成31年第1回定例会のあらまし＞

平成31年第1回定例会は、3月5日から19日までの15日間の会期で開かれました。

土浦市消費者安全条例の一部改正についてなどの条例の改正や平成31年度の一般会計予算、特別会計予算など、市長から66件の議案、諮問1件が提出されました。

今回から、新年度予算、一般会計の内歳入を全議員で構成する予算特別委員会で、歳出については常任委員会を単位とする予算特別委員会分科会を設置して、平成31年度の土浦市一般会計予算について審議しました。予算特別委員会委員長の報告内容を抜粋したものを2頁に掲載しています。

市議会では慎重に審議し、その結果、原案どおり全議案が可決されました。そのほか、市民から提出された請願・陳情の採否についても議決しました。

また、11日、12日、13日の3日間で会派代表質問及び一般質問が行われ、代表質問では、会派から5人、一般質問では8人の議員が執行部(市長等)に対し市政一般について問いました。

最終日には、土浦市公平委員会委員の選任の同意や人権擁護委員候補者の推薦についても審議し、同意しました。そのほか、委員会提出議案1件を提出し、これらについても原案どおり可決されました。

＜令和元年第1回臨時会のあらまし＞

平成31年4月21日に行われました土浦市議会議員選挙を受け、令和元年第1回臨時会が5月21日に開催されました。

臨時会では、議長・副議長選挙、常任委員会員の選任、議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員選挙などが行われました。

その他、市長から議案2件と4件の報告案件があり可決されました。

<第1回> 定例会で 決まったこと

**一般会計予算など全
議案66議案を原案
可決**

平成31年第1回定例会が、3月5日から19日に開催されました。今回可決された議案のうち、平成31年度一般会計予算は530億2千万円を計上するもので、主な事業は下段のとおりとなっております。

条例の改正等については、10月1日からの消費税率引き上げに伴う増加分相当について改める改正など41件が提出されました。

そのほか、下水道事業や水道事業、国民健康保険など、平成31年度の特別会計予算も提出され、原案どおり可決されました。

**公平委員会委員の選任
の同意・人権擁護委員
候補者の推薦について**

最終日の19日に、市長から土浦市公平委員会委員の選任の同意、人権擁護委員候補者の推薦について議案の提出があり、同意しました。

○土浦市公平委員会委員

小出 弘子 氏

○人権擁護委員候補者

岡田 美枝子 氏
橋戸 崇雄 氏

平成31年度 土浦市
一般会計・特別会計
予算を原案可決

一般会計	530億2,000万円
特別会計	388億4,000万円
合計	918億6,000万円 (前年比1.0%増)

平成31年度予算は、昨年度と比べ1.0%増で、一般会計、特別会計合わせて918億6千万円を計上し、主な事業は下記に示すとおりです。

また、市長から示された平成31年度の予算編成に関する基本方針は次のとおりで、これを踏まえ慎重に審査しました。

○予算編成の基本方針
平成31年度予算編成に当たっては、将来にわたる多額の財源不足が見込まれる厳しい財政状況の中、より一層の「選択と集中」により、大胆なス

クラップを念頭に置いて、事務事業見直しの徹底を継続させる一方で、市民会館耐震化及び大規模改造事業や学校給食センター再整備事業など、未来への投資に重点化した財源配分など、メリハリを効かせた予算を編成しました。

**予算特別委員会
委員長報告(抜粋)**

当予算特別委員会に付託されました、議案第42号平成31年度土浦市一般会計予算についての審査を行いました。

歳入については、第1款「市税」のたばこ税及び、軽自動車税の算出根拠や第12款「地方交付税」の震災復興特別交付税の活用についてなど、議員全員で質問等審査を行い、また、歳出については、分科会を設置し、総務市民分科会の所管分については、第2款中の防災費について、文教厚生分科会の所管分については、第9款の市民会館管理費の市民会館指定管理者指定管理料について、産業建設分科会の所管分では、第7款土木費について、質問を行い審査しました。採決の結果、賛成多数で、原案どおり可決すべきものと決しました。

※詳細についてはホームページ等で確認して下さい。

平成31年度予算の主な事業

費目	事業名	予算額(千円)	目的
総務費 まちづくりの各種計画や振興、財産を管理するための費用	シティプロモーション事業	6,726	多くの方に「選ばれるまち」となるため、まちの魅力や価値を向上させることで、まちの成熟や地域活性化を図り、市民の郷土愛の醸成と交流人口及び定住人口の増加を目指す。
	ふるさと土浦応援寄付事業	58,030	ふるさと納税は、税制改正に伴う特例控除の上限の拡充やワンストップ特例制度の創設により、広く認知されるようになりました。本市においても、引き続き本市ならではの返礼品を充実させることにより、歳入の確保を図るとともに、地元の特産品等を広くPRする。
	水郷筑波サイクリング環境整備事業	10,300	「つくば霞ヶ浦りんりんロード」をはじめとした本市サイクリング環境のPRや、当環境を活用したイベントの実施により、交流人口の拡大と地域経済の活性化を推進する。
	地域公民館整備事業	33,840	町内会(自治会)住民の地域活動や交流の拠点となる地域コミュニティ施設の新築等に要する経費の補助を行うことにより、地域住民の連帯感及びコミュニティ意識の高揚を図る。
	防犯対策事業	37,000	安心で安全な明るいまちの実現を図るため、安全な生活環境整備に取り組むことにより、地域における犯罪を未然に防止する。
	荒川沖駅周辺自転車等放置禁止区域指定事業	1,204	土浦駅周辺及び神立駅周辺同様、荒川沖駅周辺にも、土浦市自転車等の放置防止に関する条例に基づく自転車等放置禁止区域を指定し、良好な交通環境の確保を図り、市民の安全な生活環境を保持する。
	神立駅西口自転車駐車場整備事業	72,033	神立駅西口土地区画整理事業に伴い、神立駅西口自転車駐車場の建て替えを実施する。
	地域防災対策整備事業	6,816	本市の防災の指針となる「土浦市地域防災計画」に基づき、市民の生命・身体及び財産を災害から保護するとともに、予想される首都直下地震等の災害に備えるため、防災・減災対策の充実を図る。
民生費 高齢者や障がい者、児童などに充実した生活を送ってもらうための費用	プレミアム付商品券事業	735,488	消費税・地方消費税引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・支えするため、低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券の発行を行う。
	産後ケア事業	660	産婦検診等の結果により、心身の不調又は育児不安がある産後間もない産婦に対し、産後ケア施設において助産婦等が心身のケアや育児サポート等を実施し、産後の支援体制の確保と母子の健康増進を図る。
	公立保育所民間活力導入事業	5,191	公立保育所民間活力導入実施計画に基づき、公立保育所へ民間活力を導入し、子育て支援の一層の充実を図る。
	私立保育園整備事業	388,677	私立保育園等の整備に要する経費の一部を補助することにより、子育て環境の整備を図る。
	民間保育所等運営費補助事業	71,190	保育を支える保育士等の確保が困難な状況に鑑み、保育士が働きやすい環境の整備を支援することで、質の高い安定的な保育の提供と待機児童の解消を図る。
衛生費 病気の予防、ゴミ処理やリサイクル、環境の保全・保護するための費用	産婦健康診査事業	10,178	産後うつ等の予防や新生児への虐待予防等を図るため、産後間もない時期の産婦に対して、健康診査に係る費用の一部を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠初期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。
	一般廃棄物有料化事業	82,321	各家庭から集積場に排出される可燃ごみ、不燃ごみの処理を有料化することにより、ごみ減量化とリサイクルの推進を図り、資源循環型社会形成に努め、ごみ排出量に応じた費用負担の公平化、ごみに対する住民意識の改革を図る。
	汚泥再生処理センター整備事業	402,648	老朽化した衛生センターを、現在処理しているし尿や浄化槽汚泥に加え、有機性廃棄物(農業集落排水施設汚泥)を併せて処理し、助燃剤化する再資源化設備を設けた汚泥再生処理センターとして建て替える。
	PCB廃棄物運搬処分事業	12,081	PCB(ポリ塩化ビフェニル)の有害性は国際的に認知されており、平成16年発効のストックホルム条約では平成40年までにPCB汚染物を適正処分することとなっている。本市が保有するPCB含有廃棄物について、PCB特別措置法に基づき、低濃度PCB廃棄物を平成31年度に適正に処理することで、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。
農林水産業費 農業、林業、水産業、畜産業などの振興のための費用	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	690	農林畜水産物の資源を活用した都市と農村の交流と加工品の開発を進め、地域の農林水産業を活性化することで、交流人口が増えるなど、地域経済の好循環を図る。
	一般地帯土地改良事業	30,000	農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献し、排水路としての機能を回復すると同時に、用水源としても活用することにより営農効率を高め、農業経営の安定を図る。
商工費 商工業や観光振興のための費用	わくわく茨城生活実現事業(移住・新規就業者支援事業)	3,232	東京圏への一極集中の是正及び地域の担い手不足のため、地方創生推進交付金を活用し、U・Iターンによる移住及び新規就業者の創出を図る。
	中心市街地開業支援事業	5,100	中心市街地に開業しようとする新規事業者に対して、家賃又は改装費の一部を補助することにより、市民や事業者等の起業機会を創出し、まちで働く人・活動する人を増やすことにより、中心市街地の活性化を図る。
	第88回土浦全国花火競技大会開催事業	73,000	土浦全国花火競技大会の更なる充実を図り、煙火技術の向上に貢献するとともに、花火のまち「土浦」を全国にアピールする。また、打上体制や雑踏警備体制など安全対策を徹底し、安全性の高い花火大会運営を目指すことで、全国の模範となる大会運営を行う。
土木費 道路や公園、下水道・橋梁等の整備を行うための費用	橋梁耐震対策事業/橋梁長寿命化修繕事業	158,478	橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、安全な道路交通を推進する。
	亀城モール整備事業	366,527	川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と、潤いのある都市空間の形成を図る。
	神立駅周辺地区土地区画整理事業	480,120	神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により、西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進する。
	常名虫掛線街路事業	137,153	中心市街地と並木地区を結び交通ネットワーク構築による周辺地域の活性化や、暮らしやすさの向上及び運動公園アクセスの向上並びに周辺自治体との観光ネットワーク強化を図る。
	神立停車場線街路事業	133,603	神立駅西口地区土地区画整理事業に併せ、神立駅から国道6号線までの区間を整備し、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築する。
	田村沖宿線延伸道路整備事業	44,873	国道354号おかつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間を確保する。
	荒川沖木田余線(1期)整備事業	219,717	都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間(1期:L=1,300m)を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図る。
	土浦港周辺広域交流拠点基本計画に基づき、土浦港に隣接する川口二丁目の市有地に官民連携による観光拠点を整備することにより、中心市街地の活性化及び賑わいを創出する。	10,000	
消防費 火災の予防や消火、急病人を救助するための費用	消防団車庫整備事業	24,222	老朽化した消防団車庫の耐震性・耐久性を確保するため、計画的に更新整備を実施する。
	就学前教育推進事業	3,814	幼児期から児童期にかけては、育ちと学びの基礎力を培う大切な時期であり、互いの教育を見通し、連続性・一貫性のある教育を行う必要があるため、「就学前教育・家庭教育」を推進し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る。
教育費 学校教育や生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツ振興のための費用	市民会館耐震化及び大規模改造事業	2,059,253	老朽化が著しく、耐震補強も必要と診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、大規模改造を行い、施設を安心・安全に利用できるような整備する。
	重要資料公開推進事業	6,958	特別展やテーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会を作ることにより、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上を図る。
	茨城国体準備事業	244,969	本年度開催する第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)では、本市で実施する4競技について万全な準備のもとで円滑な運営及び、市民意識の高揚を図り、おもてなしの心を持って大会の開催ができるよう取り組む。
	学校給食センター再整備事業	2,008,423	第一及び第二学校給食センターは、老朽化が著しく、耐震基準を満たしていないことから、統合し、旧新治庁舎跡地に1センター方式として再整備する。

会派代表質問

■創政会 内田 卓男

(質問内容)

- 一 土浦の夢とロマンを歴史に学ぼう。
- (一) 刀剣のまち土浦
- (二) 東城寺小野地区の山麓に大自然公園を・・・
(ジオパーク)
- (三) つくばエクスプレスを土浦駅へ
- (四) 県道土浦大曾根線に、スマートICを設置
- (五) 亀城モールと公園ビルについて

(創政会への答弁)

一 (一) 刀剣の展示とともに、ホームページやSNSなどを利用した情報発信のさらなる充実と、図書館などの施設との連携を強化し、土屋家刀剣の持つ魅力をこれまで以上に発信してまいります。

■明政会 寺内 充

(質問内容)

- 一 中心市街地活性化
中央地区(土浦市有地を含む)の再開発と中城地区の歴史的資産の有効活用について
- 二 新治多目的グラウンドの人工芝生化について
- 三 土浦駅周辺の喫煙施設整備(国体開催までに整備)について

(明政会への答弁)

一 第二期土浦市中心市街地活性化計画に、亀城公園整備事業を位置付けたほか、にぎわいを取り戻してきた土浦駅周辺から、中心市街地に向けた人の流れを創出するため、駅前から中城地区、さらには亀城

(二) この地域一帯は水郷筑波国定公園に指定され、筑波山麓の優れた自然の景観を残し、守られてきたことなどから、今後も小町の館を拠点に、市民や観光客など多くの方が、身近に歴史や文化、自然にふれあえる地域として、自然環境の保全に十分配慮した活用を図っていききたい。

(三) つくばエクスプレスの土浦駅への延伸については、解決していく課題が数多く、今後の交通需要、それから東京駅延伸の動向というものを見定めながら、国、県、首都圏新都市鉄道株式会社、関係機関に働きかけを行っていききたい。

(四) 総事業費や整備後の効果などを慎重に精査する必要があり、事業は地元主体で進めるとされていることから、引き続き先進事例の検証を行うなど、スマートインターチェンジに関する調査研究を進めていきたい。

(五) 公園ビルのモール化については現在進めている亀城モール整備事業や、第二期中心市街地活性化基本計画の効果などを見極めながら、調査研究していききたい。

公園への回遊性の向上を図り、中心市街地全体のにぎわいを創出していききたい。

二 天然芝や人工芝で整備する場合の財源確保や整備手法、維持管理の方法のほか、川口運動公園陸上競技場の天然芝の補修等による対応も含め引き続き、調査研究を行っていききたい。

三 土浦駅西口にある喫煙所については、ペDESTロリアンデッキの下にあったものを、駅ビル脇に移転し、たばこの影響を極力抑えるため、ほかの施設よりも背の高いパーティションをつけました。今後、国体開催にあたっては、お客様を迎える観点から、どのような対策ができるか検討していききたい。

■公明党土浦市議団 荒井 武

(質問内容)

- 一 財政・歳入
現在の税の徴収率と今後の税収確保及び具体的対策について
- 二 高齢福祉行政
介護申請期間の時間短縮について
- 三 教育行政
女子中学生入学時制服選択スカート・スラックスについて
- 四 水道行政
改正水道法について
- 五 道路行政
道路法改正 義務化5年について
- 六 環境行政
指定廃棄物・除去土壌処分 現状認識と今後について
- 七 消防行政
消防団強化・装備の充実について

(公明党への答弁)

一 平成15年当時、80%であった徴収率が、市税滞納一掃宣言や、特別滞納対策室及びコールセンター設置、コンビニエンスストアでの納税機会の拡充などにより、平成29年度には93.7%まで上昇しました。今後の税収確保対策については、現年度課税分を中心に年度内徴収の徹底に取り組んでいます。

二 介護認定は申請から原則30日以内に認定結果を出す

■日本共産党土浦市議団 久松 猛

(質問内容)

- 一 改正水道法への対応について
コンセッション方式は導入すべきではないと思うかどうか
- 二 旧協同病院の跡地利用計画、および旧救急センター活用の見通しについて
- 三 戦没者追悼式典のあり方について

(日本共産党への答弁)

一 本市の水道事業は企業運営に関して独立採算制を堅持しており、近隣の市町村との共同徴収を検討する

すことになっているが、認定に必要な主治医意見書の提出が遅れている場合には、医療機関に作成状況の確認を行うなど、認定までの期間の短縮に努めてまいります。

三 男女平等の観点から、女子生徒がスラックスを選択できるような検討していく必要があると考えており、生徒や保護者の意見を尊重しながら、女子のスラックス着用について柔軟に対応するよう、各校に指導していききたい。

四 周辺市町村と料金徴収業務の共同発注に向けた勉強会を行い、経営基盤の強化に努めており、今後も引き続き、市自らが継続して運営し、将来にわたっても安全な水道水を安定的に供給してまいります。

五 平成26年の道路法改正により、橋梁の点検が5年ごとに義務付けされた。今年度までに1巡目の点検が完了し、来年度からは2巡目の点検を実施する予定となっております。

六 指定廃棄物の除去土壌とも適正に一時保管されている除去土壌については、本市では、国から処分方針が示され次第、速やかに対策を講じていききたい。

七 消防団に必要な資機材等については、消防団とも協議を行い、有利な補助制度を活用し、引き続き整備を行ってまいります。

など、健全経営に努めており、現時点では公営企業による運営維持が望ましいと捉えています。

二 J A茨城県厚生連が所有する跡地については、診療所、駐車場、アパート、保育園として活用されると伺っている。診療所が移る予定の旧救急センターの予定については、J A茨城県厚生連から連絡があり次第お知らせします。

三 式典に参列されるご遺族の体調に考慮し、献花は複数名とし、式典の時間短縮を図っているが、今後ご遺族の皆様への献花を式典の中で実施するか、土浦市遺族会と相談させていただきたい。

市議会のしくみ

市議会は市民参加の開かれたまちづくりのため、市民一人ひとりの声を市政に反映させる役割を担っています。

市議会議員と市長は、4年に一度、市民の皆さまの選挙によって選ばれ、市民の代表として市政の運営を任されています。

市長は選挙公約などで打ち出した政策を進めるため、また住み良いまちづくりを進めるために、予算や条例などの案を作り、市議会議員は市民の皆さまの代表として、その案を慎重に審査し、決定しています。

これは市議会の基本的な権限である議決権であり、予算や条例を決定する権限になることから、市長は議会の議決に従って仕事（市政）を進めていきます。

このようなことから、市議会を「議決機関」、市長を「執行機関」と呼び、互いにけん制し協力し合いながら均衡を保ちつつ、同じ目的である市政の発展のために活動しています。

<議会を傍聴しませんか!!>

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付（庁舎4階傍聴席入口）で、住所・氏名等を記入して入場してください。ぜひご来場ください。



（質問内容）

一 「活力とにぎわいのあるまちづくり」の施策の中の以下の2事業について質問致します。

（一）土浦ブランドアッププロジェクト推進事業

（二）中心市街地開業支援事業

二 「市民が主役の安心・安全なまちづくり」の中で

（一）都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業について

三 新治運動公園の駐車場の拡張の考えはあるのか

（新風会への答弁）

一 （一）地元住民や農林水産業者が主体となるよう、人材の育成を図るとともに、土浦ブランドアッ

プロジェクト推進協議会で開発した加工品を、市内の飲食店で提供していただけるようPRしていきたい。

（二）平成31年度からは開業前に必要な設備資金である改装費用の2分の1を補助する制度を創設し、家賃補助との選択性を実施していくことにより、制度に幅を持たせ、まちなかの活力の向上とにぎわいの創出を図っていききたい。

二（一）多額の事業費が必要となる神立地区は、平成25年に事業変更を行い、早急な整備を進めている。旧市街地や周辺地区の雨水対策はストックマネジメント計画に基づき、適正な維持管理に努めている。

三 利用実態を詳細に把握し、必要性を精査した上で、隣地の買収や借用、あるいは同運動公園敷地内の植栽部分を新たに駐車場として転用する等の方法も含め、今後検討していききたい。

一般質問



下村 壽郎 <一括質問>

Q 来年度以降の乙戸川河川改修について、県や市ではどのようにお考えかお伺いします。

A [建設部長] 茨城県において進められている一級河川乙戸川の河川改修は、現在事業中の国道6号から乙戸沼までの2,200メートル区間に

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を一つ取り上げて要旨を掲載しています。今定例会では「一括質問・一括答弁」方式を選択した議員が8名となっております。

か、暫定断面とはなるもの、河道掘削もあわせて実施される予定です。

来年度以降の河川改修ですが、茨城県では、現在行っている河川改修が、本年の6月頃には完了する予定で、今後は現在進めている改修区間に接した下流側について、一部未改修箇所があるため、この区間の設計と工事を進めていく予定となっている。

なお、乙戸小学校の東側から上流部の木柵板などによる改修区間については、河川保護と河道確保のための応急的なものであり、当然ながら腐食などの経年劣



平石 勝司 <一括質問>

Q 医療的ケア児支援について 本市の医療的ケア児の支援体制は現状どのようになっているのか、お伺いします。

A [保健福祉部長] 医療的ケア児の支援体制については、障害福祉サービスでは、施設支援サービスと訪問支援サービ

スがあり、施設支援サービスとしては、児童福祉法に基づき児童発達支援及び放課後等デイサービスがあり、障害者総合支援法に基づくものでは、短期入所や日中一時支援があります。本市における医療的ケア児を受け入れている施設支援サービス事業所としては、児童発達支援では、市の療育支援センター内にある「ゆりかご教室」のほか2カ所、放課後等デイサービスは7カ所、日中一時支援事業は3カ所あります。本市では、平成30年3月に策定した「土浦市障害児福祉計画」において、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場を設置する

また、医療的ケア児と家族が安心して暮らせるよう、医療的ケア児に関わる各機関の支援を総合的に調整するコーディネーターの配置を進めており、県では、来年度に「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」の実施を検討していると伺っている。

【その他の質問事項】 ・SNSを活用した相談について ・自転車を活用したまちづくりについて





篠塚 昌毅 <一括質問>

Q 2020年教育改革について
・小学校、中学校における学校教育の大きな変更点についてお伺いします。

A【教育長】

小学校学習指導要領が10年ぶりに改訂され、2020年4月1日より全面実施になる。この改訂により、小学校では、児童が外国語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる

能力を養うために、3、4年生では「外国語活動」が新たに加わり、5年生、6年生では2019年度まで行っていた外国語活動から授業時数も増える「外国語科」となる。
次に、中学校における学校教育の大きな変更点としては、新しい中学校学習指導要領が2年後の2021年4月より全面実施となるが、道徳の教科化を除き、新たな教科の新設や時数の増加は規定されていない。

さらに、学校教育を通じて、よりよい社会を創るとい目標を学校と地域社会とが共有し、連携、そして協働しながら、一人ひとりの子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を育み「社会に開

いた教育課程の実現」に向けて各学校では教育改革を進めており、今後とも2021年4月の新しい学習指導要領の全面実施が円滑に進むように、各中学校に対して指導をしていきたい。

【その他の質問事項】

・荒川沖小学校周辺の通路の安全を確保するための整備計画等について



吉田 千鶴子 <一括質問>

Q 産婦健康診査事業並びに産後ケア事業について
産婦健康診査の具体的な事業の内容と産後ケア事業の開始時期や受けられる施設、また事業の周知方法についてお伺いします。

A【保健福祉部長】

産婦健康診査の具体的な健診内容としては、問診、そして診察、その他必要な検

査の実施により、母体の身体的機能の回復や授乳状況、さらに精神状態の把握などを行っている。
健康診査は、産後2週目と産後1カ月を目安に行われ、市がその健診費用について一部助成するもので、開始時期としては、本年4月からとし、4月1日以降に産出した方を対象として実施します。

産後ケア事業は、出産後や退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を目的とし、母親の心身の負担の軽減を図ることで、子どもへの虐待リスクを減少させるもので、親族から十分な家事や

育児の援助が受けられない生後4カ月未満の乳児及びその母親で、産後における心身の不調、育児不安等のある方を対象に、助産師等が母体の管理や生活面、授乳などの育児指導を行い、育児の不安を解消するものです。

事業の開始時期と産後ケア実施施設については、現在、本年4月当初から霞ヶ浦医療センターで実施ができるよう準備を進めており、事業の周知方法については、広報紙やホームページへ掲載することはもとより、母子健康手帳を発行する際にはチラシを配布し、さらには、保健師による赤ちゃん訪問時や子育て世代包括支援センターの電話相

【その他の質問事項】

・風疹ワクチン無料接種について及び麻疹について
・博物館・第40回特別展 図書館・市民ギャラリー 展、上高津貝塚ふるさと歴史の広場について



竹内 裕 <一括質問>

Q 茨城県道土浦一坂東線整備事業について(土浦都市計画道路 穴塚一太石田線) 茨城県の方針や現在行っている工事の延伸についてお伺いします。

A【都市産業部長】

都市計画道路穴塚大岩田線は、起点の穴塚地区内の

現在の進捗状況では、事業主体である茨城県において、既に用地買収が完了しており、工事についても、平成30年度末までに橋梁下部工事、道路改良舗装工事などが完了し、今後は国道354号線の高津橋の架設工事、穴塚大岩田線の南側道路舗装工事及び北側歩道の拡幅工事が進められ、平成32年度に完了予定と伺っている。

今後の整備予定は、茨城県に確認をしたところ、現在工事が進められている国道354号線ランプからひばり団地手前までの延長約360メートルの区間について、茨城県が国の事業認可を受け、平成25年度から事業に着手したところ。

茨城県が管理する県道土浦坂東線や国道125号線については、未整備のままであることから、本市では毎年度、茨城県に対し、未整備区間の早期着手について要望してきた結果、国道354号線ランプからひばり団地手前までの延長約360メートルの区間について、茨城県が国の事業認可を受け、平成25年度から事業に着手したところ。

Q 土浦市とその周辺地域の伝統文化の県内及び全国への発信について



島岡 宏明 <一括質問>

市内や周辺にある多くの歴史文化資源を観光資源としてまちづくりを活かし、土浦と周辺地域が連携して地域一帯が発展できるような情報発信はできないか。

市内外や周辺にある多くの歴史文化資源を観光資源としてまちづくりに活かし、土浦と周辺地域が連携して地域一帯が発展できるような情報発信はできないか。

A【教育部長】

土浦市及び土浦の歴史

に関わる県内外への取組については、展覧会ポスターの掲示や、つくば市、石岡市、笠間市、桜川市、かすみがうら市の5市と連携して行ってきた石仏に係る写真展や講演会、散策会などの筑波山地域ジオパークの認定につながった諸活動のほか、かすみがうら市、行方市と3市で連携して行ってきた「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」については、平成30年3月に文化庁長官より「記録作成等の措置を講ずべき無形民俗文化財」に選択された。

これらの文化財の情報発信については、平成32年度に文化庁の文化遺産オンラインと繋がるようになることから、市立博物館のホームページへのアクセスの増加が期待され、さらに

今後の適切な文化遺産の保護と、時代の要請に

期は未定ですが既にセンターラインが設置された2車線道路となっており、一定の安全性が確保されている状況であることから、本市としては、現在行われている整備が着実に進み、一日も早い完成となるよう、引き続き県に対して要望を行ってまいります。



あつた文化の振興に努めるとともに、周辺都市と連携してそれぞれが持つ歴史・文化資源をさらにブラッシュアップして、土浦市とその周辺地域の文化の発展に寄与していきたい。





井上圭一
〈一括質問〉

Q 通学路のグリーン帯の進捗状況について

子どもたちの安心・安全のために、今後のグリーン帯の設置予定をお伺いします。

A 建設部長

通学路のグリーン帯の進捗状況ですが、グリーン帯、いわゆる路肩のカラー舗装化については、通学路ではあるものの、道路幅員が狭く、歩道の設置が困難な場所において、歩行者が通行する空間の確保を図るため、

道路の路肩にカラー舗装を行うものであり、これにより視認性を高め、車両の運転手には路肩を走行しないことや速度の減速が図れるとともに、歩行者には路肩への通行を誘導すること、地域の方々には通学路であることの再認識を図り、安全で安心な通学環境を整えることが可能となる。

現在、土浦市においては、通学路の安全確保に関する取り組みとして、「土浦市通学路交通安全プログラム」を策定し、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保を図っている。

このプログラムの中で、平成31年度から34年度までの期間内に市内全ての小学校において、通学路安全点検の再点検を計画しているほか、学校、保護者、地域

住民、自治会や一般ドライバーなどの連絡を随時受け付けるなど、危険箇所の把握に努めている。

今後についても、市及び教育委員会が主体となり、地域の状況や特性、交通量などを総合的に検討し、危険度の高い通学路については関係機関との協議、調整、さらには連携を図った上で積極的にグリーン帯の設置等による歩行者の安全確保を図ってまいります。

その他の質問事項

- ・乙戸沼公園のてんぐ巣病対策の進捗状況について
- ・荒川沖駅周辺自転車等放置禁止区域指定事業について
- ・過払金について市の認識をお伺いします。



勝田達也
〈一括質問〉

Q 第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)開催後の土浦市の霞ヶ浦の取り組みについてお伺いします。

自然の恵みである生態系サービスは、茨城での連携が重要なことから流域21市町村長で組織する霞ヶ浦問題協議会や、茨城県霞ヶ浦環境科学センターと、これまで同様に連携を図り、本

A 市民生活部長

市においてはサテライトつちうらの開催で形成された市民・市民団体・国・県の関係者などのパートナーシップや、市民・市民団体・事業者等で組織する土浦市環境基本計画推進協議会において、流域での課題と解決方法についての情報共有を行い、市民・研究者・企業・行政の四者間パートナーシップを一層強化してまいります。

ある」とされている。

本市としては、国や県が実施しているモニタリングデータを収集することも

今年度改訂を行った「土浦市生活排水対策推進計画」の進行管理の中で、生活排水由来の汚濁負荷量の変化や、河川の汚濁状況のモニタリング等を確実に実施するとともに、適切な生活排水対策を進めます。

人的資本については、環境学習が大事であり、小学生・中学生・一般向けの水環境教育・学習の提供を今後とも推進するほか、サテライトつちうらでハイスクール会議を開催したこと

から、来年度も高校生を対象とした研修と意見交換会の機会を提供してまいります。

また、生態系サービスは「自然資本」と「人的資本」で成り立っており、自然資本の継承のためには、「湖沼環境に関する情報や課題を整理し、モニタリングデータを蓄積し解析すること」が大事であり、「自然資本の減少の原因を明らかにし、回復に努める必要が

また、生態系サービスは「自然資本」と「人的資本」で成り立っており、自然資本の継承のためには、「湖沼環境に関する情報や課題を整理し、モニタリングデータを蓄積し解析すること」が大事であり、「自然資本の減少の原因を明らかにし、回復に努める必要が

常任委員会会議録をホームページで見られます！

土浦市ホームページで平成30年第2回からの各常任委員会会議録が見られるようになりました。土浦市ホームページから「議会事務局」、「委員会会議録」を選択し検索してください。

請願・陳情の受け付け

市議会では、請願・陳情は常時受け付けていますが、定例会で取り扱うものは、定例会招集日の4日前までに提出されたものに限ります。

<第1回>臨時会で決まったこと

議長・副議長決まる！

5月21日、令和元年第1回臨時会が開催されました。

今臨時会では、議長、副議長の選挙が行われ、議長に篠塚昌毅議員、副議長に平石勝司議員が就任することとなりました。

そのほか、常任委員会や議会運営委員会委員の選

任、一部事務組合議会議員選挙などが行われました。

また、市長から土浦市税条例の一部改正についてや、令和元年度土浦市一般会計補正予算など2件の議案が上程され、審議の結果原案通り可決され、4件の報告についても承認されました。

広報広聴委員会

- 委員長 平石 勝司
副委員長 島岡 宏明
委員 矢口 勝雄
勝田 達也
今野 貴子
小坂 博
福田 一夫
海老原 一郎

一部事務組合議会

- 委員長 海老原 一郎
副委員長 吉田千鶴子
委員 勝田 達也
塚原 圭二
鈴木 一彦
小坂 博
吉田 博史

湖北環境衛生組合議会

- 議員 島岡 宏明
今野 貴子

茨城県後期高齢者医療広域連合議会

- 議員 福田 一夫

新治地方広域事務組合議会

- 議員 柴原伊一郎
海老原 一郎
柳澤 明

土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合議会

- 議員 勝田 達也
矢口 清
寺内 充
久松 猛

議案等議決結果

受理番号	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	土浦市議会議長の選挙	元. 5.21	元. 5.21	選挙
	議席の指定について	元. 5.21	元. 5.21	指定
	会期の件	元. 5.21	元. 5.21	原案可決
	土浦市議会副議長の選挙	元. 5.21	元. 5.21	選挙
	土浦市議会常任委員会委員の選任について	元. 5.21	元. 5.21	選任
	土浦市議会議会運営委員会委員の選任について	元. 5.21	元. 5.21	選任
	新治地方広域事務組合議会議員の選挙	元. 5.21	元. 5.21	選挙
	湖北環境衛生組合議会議員の選挙	元. 5.21	元. 5.21	選挙
	土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合議会議員の選挙	元. 5.21	元. 5.21	選挙
	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	元. 5.21	元. 5.21	選挙
報告第8号	専決処分の承認について(土浦市税条例の一部改正について)	元. 5.21	元. 5.21	承認
報告第9号	専決処分の承認について(土浦市国民健康保険税条例の一部改正について)	元. 5.21	元. 5.21	承認
報告第10号	専決処分の承認について(平成31年度土浦市一般会計補正予算(第1回))	元. 5.21	元. 5.21	承認
報告第11号	専決処分の報告について(和解について)	元. 5.21	元. 5.21	報告
議案第67号	土浦市税条例の一部改正について	元. 5.21	元. 5.21	原案可決
議案第68号	令和元年度土浦市一般会計補正予算(第2回)	元. 5.21	元. 5.21	原案可決

インターネットで市議会の模様が見られます！

土浦市ホームページから「土浦市議会事務局」→「本会議録画配信」を選択し検索してください。

第2回定例会の会議録は8月下旬に次の施設で閲覧可能です！

- 土浦市立図書館
- 支所・出張所(南、上大津、都和、神立、新治)
- 地区公民館(各中学校区)

私たち24名は『誇れる土浦市』となるよう、一所懸命に取り組めます！ 私たちの活動を見ていてください！！

就任のごあいさつ



議長 篠塚 昌毅

この度、第四十九代土浦市議会議長に就任いたしました篠塚です。議長の大役を任されることは、身に余る光栄であり、感激するとともに、責任の重さを痛感しております。

さて、本年5月より元号が改められ、新たな時代の幕開けとなりました。新元号の令和は一人々が美しい心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味であり「厳しい冬の後に梅の花のような美しい花を、日本国民の一人一人が咲かせるよう」との願いが込められているそうです。

私は、希望に満ち溢れる新たな時代を築くためには、二元代表制の一翼を担う議会としても、市民の皆様の声に耳を傾け、交流を深め、心を寄せ合い、市民生活の中にある行政課題を的確に把握し、議会の担うべき役割を果たして行くことが重要であると考へており、議会報告会、意見交換会等の開催を通じて市民と議会の関係をより深めることに努め、説明責任を果たしてまいります。

これから諸先輩議員の方々が築いてこられた歴史と伝統ある土浦市議会を代表する議長として、議会基本条例を遵守し、公正かつ円滑な議会運営に一所懸命取り組み、土浦市の更なる発展と市民福祉の向上のため粉骨砕身努力することをお誓い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長 平石 勝司

この度、土浦市議会副議長に就任させていただきました。先輩議員の皆様が築いてこられた歴史と伝統のある土浦市議会副議長という大任にあられたため身の引き締まる思いです。

現在、本市においては少子高齢化・人口減少社会の課題解決に向けて、様々な事業を進めているところですが、これからは土浦に住みたい、ずっと住み続けたいと皆様に実感していただけるよう、土浦の未来へ向けて、取り組んでまいります。

地方議員は、市民の皆様にとって一番身近かな存在と言えます。だからこそ、我々はお一人おひとり寄り添い、小さな声を聴くことを大事に、誰一人取り残さない政治を進め、市民生活の課題解決にきめ細かく取り組んでいくことが、何よりも大事と言えます。

これからも土浦市政の発展と市民福祉向上のため、篠塚議長とともに、誠心誠意、議会運営に全力で取り組んでまいります所存です。

常任委員会のメンバー

常任委員会とは、本会議ですべての議案を細かく審議することは効率的でないため、本市議会ではそれぞれの分野を3つ（定数8名）に区分けし、その区分けした部門ごとの事務に対し、自主的に調査をしたり、議会から審査を任された議案や請願などを審査する常設の機関のことをいいます。（※氏名右の丸数字は期数）

■ 総務市民委員会【市長公室、総務部、市民生活部、会計課、消防本部の所管に関する事項、他の常任委員会に属さない事項】

久松 猛⑩	吉田 博史⑥	吉田千鶴子⑤	海老原一郎⑤	柴原伊一郎④	篠塚 昌毅④	今野 貴子②	島岡 宏明②
木田余東台5-3-15 822-6494	常名309-3 821-2568	中村南1-7-2 841-5286	真鍋3-13-1 821-4350	藤沢1467 862-2659	荒川沖西2-20-4 841-1170	小松1-1-14 (事務所) 893-4820	右萩1882 (事務所) 841-0296

■ 文教厚生委員会【保健福祉部、教育委員会事務局の所管に関する事項】

鈴木 一彦④	下村 壽郎②	塚原 圭二②	目黒 英一①	奥谷 崇①	田子 優奈①	矢口 勝雄①	福田 一夫⑦
藤沢3434-5 090-8487-7812	乙戸1017 841-1176	中村南3-9-19 842-0927	北荒川沖町10-21 842-2987	右萩12-11 070-4340-8535	東崎町11-24ハウスサンライト203 080-4571-1980	下高津1-5-8 821-0323	乙戸858-5 842-2750

■ 産業建設委員会【都市産業部、建設部、農業委員会事務局の所管に関する事項】

内田 卓男⑧	柏村 忠志⑥	寺内 充⑥	矢口 清⑤	柳澤 明⑤	平石 勝司③	小坂 博④	勝田 達也②
中高津3-19-22 822-1380	中高津1-3-9 824-8073	川口1-11-5 821-6757	田宮674-3 862-4777	右萩1681-98 842-0119	神立町672-36 893-5633	桜町1-13-3 (事務所) 821-0458	神立町3623 831-0525

広報広聴委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員長
海老原	福田	小坂	今野	勝田	矢口	平石
一郎	一夫	博	貴子	達也	勝雄	勝司

【編集後記】

土浦市議会では定員28名から定員24名となり、平成31年4月21日の土浦市市議会議員選挙で新人4名を含む24名の議員が選出されました。私も含めてそれぞれの議員全員が夢と希望に燃えております。これからも市民の皆様のご健康でのご活躍と市政発展の為、また、今年度も土浦市議会報告会や日頃の活動を通し、開かれた議会を目指してまいりますのでよろしくお祈り致します。

(副委員長 島岡宏明)

第三回定例会の予定

9月3日(火)～25日(水)
(一般質問9～11日)の予定です。

【市民のみなさまからのご意見募集！】

広報広聴委員会では、みなさまに読んでいただける議会だよりを作成するにあたり、ご意見・ご要望を募集いたします。「議員のココが知りたい」「こんな特集を組んでほしい」という事項がありましたら、下記までお寄せください。

〒300-8686 土浦市大和町9番1号
土浦市議会事務局 FAX：029-826-3379
メールの場合は、土浦市議会ホームページの「お問い合わせ」の中の「お問い合わせフォーム」から送信願います。